

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
会議名 (審議会等名)	令和6年度 第1回嬉野市食育推進会議		
開催日時	令和6年6月27日(木) 14:00～15:20		
開催場所	中央(塩田)公民館 大集会室		
会議の公開の可否	㊦ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員	森委員(会長)、川原委員(副会長)、末永委員 坂井委員、松尾委員、田中委員、白川委員 山口委員、北村委員、宮崎委員、中山委員、坂元委員	
	事務局	健康づくり課長、健康づくり課統括保健師 健康づくり課副課長2名 健康づくり課主任、健康づくり課主事	
	その他		
会議の議題	別紙のとおり		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議レジメ ・ 市報6月号 		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	健康づくり課
審議経過	<p>1. 開会</p> <p>2. 委嘱状交付 異動・役員改選等で今年度委員を交代される方 13 名のうち欠席者を除く 11 名へ交付</p> <p>3. 嬉野市長挨拶 佐賀県食育賞の受賞にお祝いを申し上げるとともに、日頃から食育活動に邁進していただき感謝する。地域に根ざした健康づくりは食にあるということを発信していきたいと思うので、委員の皆様のご協力をお願いしたい。</p> <p>4. 嬉野市食育推進会議運営及び役員選出について 嬉野市食育推進会議条例で委員の互選により選出とある。 立候補者・推薦者がいないため事務局から提案し、会長、副会長が選出された。</p> <p>5. 食育推進会議会長・副会長就任挨拶</p> <p>6. 「佐賀県食育賞」受賞報告 【委員】嬉野市の食育推進会議は学識経験者、教育・福祉・農業・保健関係者で構成されている。単なる会議として食育について提言するだけでなく、委員が自主的に幅広く連携して食育活動を推進しているところが評価され、今回の受賞となった。主に会議から提案し、推進がすすんだ活動について 2 つ報告する。1 つ目は「子どもが作る弁当の日」で、平成 27 年に委員が校長会に働きかけ、スタートした。目的は、子ども達が自分で弁当を作るという体験を通して、食に興味を持ち、自分で作ったという達成感と家族への感謝の気持ちを養い、子ども達の自己肯定感を高めることである。当初は小学校 5・6 年生のみの活動だったが、今では市内全ての小中学校の全年で年に 2 回は実施され、定着している。さらに、その弁当作りの食育教室を各学校で委員の団体が毎年継続して実施している。2 つ目は「みそ玉」の推進である。令和 3 年に朝食をバランスよく食べるための手段として、みそ汁を食べることを推進したいという意見があった。しかしながら、「忙しい」「面倒くさい」などの理由から、みそ汁を毎日食べる家庭は少ないことがわかり、簡単に美味しく、楽しく作ることができる「みそ玉」の利用を提案した。委員の所属する幼稚園・保育園等でみそ作りが得意な委員がみそ作りを教え、さらに、園では「みそ玉」作りを実践した。また、「みそ玉」作りの食育教室や作り方を紹介する広報を委員の団体が実施している。今後も、このような自主的で委員同士が連携した活動を継続していきたい。</p> <p>6. 協議事項 【事務局】出席者数 12 名、委員総数 14 名の過半数を超えているので本会議は成立する。 (1) 令和 5 年度嬉野市食育推進事業報告について</p>	

<p>審議経過</p>	<p>1) 食育推進事業について</p> <p>【事務局】 P2・3 について説明</p> <p>昨年度は「第4次嬉野市健康総合計画・食育推進計画」の実施1年目だったことから、計画内容に沿った事業を実施し、ほとんど計画通りに実施できた。乳幼児健診における食育指導では、全員に聞き取りをしているが、朝食やおやつのとおり方については令和4年度より改善している項目が多かった。一方、朝食での野菜摂取が難しいとの声が多いので、みそ玉の推進を含めて今後の課題であると考えます。</p> <p>2) 食育広報及び食育推進に関する調査について</p> <p>【事務局】 P4・5 について説明</p> <p>昨年度は、「子どもが作る弁当の日」や園での「みそ作り、みそ玉づくり」など子どもの食育活動を積極的に広報した。</p> <p>3) 食育賞について</p> <p>【事務局】 別紙1「食育ネットワークさが情報誌 生きる力」について説明</p> <p>食育賞は、食育推進の功績があった個人または団体に佐賀県知事が表彰するもので、これまで嬉野市では12の個人や団体が受賞されている。委員の皆さんからも自薦他薦問わず、推薦の情報をいただきたい。</p> <p>(2) 令和6年度嬉野市食育推進事業計画について</p> <p>1) 食育推進事業計画(案)について</p> <p>【事務局】 P6 について説明</p> <p>食育推進会議は新たに8名の委員に所属していただいたので、様々な意見をいただきたい。令和6年度講師派遣事業については、県の助成事業で講師への謝金や交通費を含めて無料で実施できる。学校や園、PTAの団体も対象になるので、積極的に応募していただきたい。</p> <p>2) 食育広報及び食育推進に関する調査(案)について</p> <p>【事務局】 P7・8 について説明</p> <p>市内での食育の取り組みを各種媒体で積極的に紹介したいので、実施される場合はご一報いただきたい。</p> <p>(3) 委員の皆さまの食育活動と嬉野市の食育について(事前アンケートより)</p> <p>1) 活動状況と今後の予定について</p> <p>2) 嬉野市の食育について</p> <p>【委員】みゆきの里の活動としてではないが、毎週木曜日に小学校へ朝ごはんは食べた?というような聞き取りに行っている。田んぼの様子を見ながら、「米や大豆は何に変身するかな?」「朝ごはんを食べたら頭がよくなるよ!」というように、子どもたちに興味を持ってもらえるように話している。</p> <p>【委員】高齢者の保健事業に携わっているが、男女で食事の自立度に差があると感じる。妻を先に亡くした男性が、食生活に困っているという状況が多々ある。食については、子どもの頃から自立してできるように育てていかなければならないと思う。</p> <p>【委員】今年度は、コロナ禍でできていなかった高齢者のサロンなどをしていきたい。</p> <p>【委員】委員の取り組みを参考に、PTA活動として食育に取り組みたい。</p>
-------------	--

審議経過

【委員】口腔ケアはとても大事だと思うので、母子保健推進員として赤ちゃんの口腔ケアの勉強や保育園での歯みがき教室などを行っている。

【委員】事故や不適切な保育のかかわりが食事中に多いという情報を聞く。配慮が必要な偏食の園児への声かけ一つにも神経質になり、葛藤しながら毎日関わっている。南部地区保育会で食育の研修を受けた際に、食育活動をすることが目的になっていないか？という話があった。芋ほりにしても、つるを刈って子どもたちが芋をとりやすいように掘ってあげていた。しかし、すべてやり方を教えるのではなく、どうやって芋ができ、どのように掘るのか、ヒントをあげて子どもたちが考えるような主体的な保育が大切だと気づいた。子どもたちの食べたいという思いにつなげていけるような活動をしていきたい。

【委員】最近食に無気力な子どもが増えたように感じるので、そのような子どもでも興味を持ってくれるような食育活動をしていきたい。今年度は、食べやすい食器に変えたり、食べやすい切り方にしたりと、環境を変えていくことが目標である。

【委員】大半の生徒は給食を楽しみにしていると思うが、中学生なので容姿を気にして食事の量を減らしたり、SNSの間違った情報を信じてダイエットをしたりする生徒もいる。ダイエットや間違ったネットの情報をぼろっと話す場所が保健室なので、それを拾って生徒と話をしていきたい。食育活動としては、PTAと連携して親子で取り組みができればいいと思う。また、家庭科の時間にヘルスメイトとみそ玉を作るなど、連携していきたいと思う。

【委員】住民や子どもと直接かかわる機会はないが、保育所等で給食を作る方への研修を行っている。子どもの食を考えると、家庭の食を考える必要がある。佐賀県は肥満やメタボが多く、20代～30代の食が大事になってくる。子どもたちも同じ食事を食べ同じ食嗜好になるので、自分の体のためだけでなく次世代の子どもたちのためにも企業で健康づくりに取り組む「健康経営」を推進している。

【委員】佐賀県産「さがびより」は14年連続特A評価を獲得している。5月に水田直播を行った。田植えは苗を植えるというのが今までの流れだったが、米の値段が安くなり米を作らない、農業をしないという人も増えてきている。省力化や省力技術の導入が進められており、苗を植えず種を水田に直接まく技術に取り組んでいる。

【委員】食生活改善推進協議会の料理教室で行う健康講話では、佐賀県が推進している「4つの健康ライフ」について話している。市民の皆さんには、食べすぎを防ぐこと、野菜を欠かさず食べること、毎日楽しくウォーキングをすることを心がけてほしい。

7. その他

(1) 嬉野市「子どもが作る弁当の日」取り組みについて

【事務局】配布資料『嬉野市「子どもが作る弁当の日」実施に関する調査結果』で報告。令和5年度は市内全ての小中学校で実施していただいた。学校によってはおにぎりに限定したり、学年によってチャレンジユースを決めたりと、様々な工夫をされていた。子どもの自主性につながるなどいい効果があるので、引き続き推進していきたい。

	(2) 嬉野市食育推進会議委員名簿 8. 閉会	以上
--	----------------------------	----